Hyショートイントロブックの紹介

技術書典8のはずだったんだよの巻

2020.03.07 モチ会 8回

tackma

目次

- Hyと日本Hyユーザー会活動の紹介
- 今週やったこと

時事

新型コロナウイルスの影響で、技術書典8が中止になってしまった!

- Hyショートイントロブック v1.1は技術書典8で頒布予定だった
- モノはあるのでオンラインで電子版頒布します

Hyショートイントロブックとは

- プログラミング言語 Hy というものがあります
- Hy入門者向けの薄い本
- 技術書典7から「日本Hyユーザー会」を名乗って参加・頒布しています

LispでありPythonであるプログラミング言語





Hy本の頒布について

ドマイナーな言語なこともあり、電子版無料配布

- 本物のLisp-erを呼び出す召喚陣にしたかった
- Hyの情報は私も欲しいんだよ!!

プログラミング言語Hyの紹介

「Pythonランタイムで動くLisp方言」

- 言語の構文自体はLisp
- (概念的には)Pythonにトランスパイルされて実行される
 - 。 実際にはバイトコードを直接吐くので、正確にはPythonそのものに変換しているわけではない

Pythonとの完璧に近い対応関係あり → Pythonの資産を全て利用できる!

- Pythonの豊富なライブラリ群を、Lispから自然に扱える!
 - 数値計算にnumpy
 - 。 深層学習にPyTorch
 - スクレイピングにBeautifulSoup etc

Hyのコード例 with ロゼッタストーン

```
from hy import HyKeyword
(import sys)
                                                     import sys
(defn printer [x]
                                                     def printer(x):
  (print x))
                                                         return print(x)
(defn arg2str []
                                                     def arg2str():
  (if (> (len sys.argv) 0) (get sys.argv 1)
                                                         return sys.argv[1] if len(sys.argv) > 0 else sys.argv[0]
       (get sys.argv 0)))
                                                     printer(arg2str())
(printer (arg2str))
(defclass A [][a "Attr"]
                                                     class A:
                                                         a = 'Attr'
  (defn __init__ [self]
    (setv self.x "member variable"))
                                                         def __init__(self):
                                                            self.x = 'member variable'
                                                            return None
  (defn printme [self]
    (print self.a self.x)))
                                                         def printme(self):
                                                            return print(self.a, self.x)
(defclass B [A]
  [dict {"key" "Value" :hi "Hy!"}
                                                     class B(A):
   lst [1 4 "Yeah!"]]
                                                         dict = {'key': 'Value', HyKeyword('hi'): 'Hy!'}
                                                         lst = [1, 4, 'Yeah!']
  (defn $$?? [self]
                                                         def hyx_is_Xdollar_signXXdollar_signXXquestion_markX(self):
    (, self.dict self.lst)))
                                                            return self.dict, self.lst
```

Pythonより有利な点はないの?

マクロ!

HyもれっきとしたLispの一族なので、(Lispの)マクロが使えます

(Hyを含む) Lispのマクロの強烈な能力例

- 実行時に行える任意の計算はマクロでできます
 - というか関数とマクロの区別は、計算されるタイミング以外は曖昧
- コンパイラのパーサを書き換えたりできます
 - 。 Lisp処理系で動くどんな奇天烈な見た目のDSLも作り放題

今週やったこと

Hy本の改訂版 v1.1 をリリースしました

- 内容的には第1版第2刷的なもの
- BOOTHにはアップロード済み
- 技術書典応援祭にはこれから登録します

告知

Hyショートイントロブック、BOOTHで頒布中!

https://tackman.booth.pm/items/1570502

リンク&参考文献

- 日本Hyユーザー会 http://hyjp.org/
- Hy https://docs.hylang.org/en/stable/
- On Lisp [Paul Graham, 野田開 訳 2007]
- https://blog.techbookfest.org/2020/02/28/cheering-tbf/